

二〇一四年一月五日 開催

《『留学生と語る』オーブンディスカッション》

日本語の書き言葉と私

サウクエン・ファン

(執筆||ミラー成三)

■ 話題提供者……Vilan Rebecca (アメリカ・フロリダ国際大学)、Rico Guastavino Nicolas (スペイン・マドリッド自治大学)、Do Thu Thao (ベトナム・ハノイ大学)、Cheng Lu (中国・大連大学)、Piampaktion Songwut (タイ・ブラパー大学)

■ コーディネーター……サウクエン・ファン

第三回ディスカッションでも数名の交換留学生を迎え、日本語を勉強するときや日本で生活する中で感じたカタカナや漢字など日本語書き言葉の疑問に関して話題提供をしても良かった。その後留学生と聴衆で複数のグループを作り、グループごとにディスカッションを行った。残念ながらディスカッションは全体が記録され、個別には記録されていなかったため、ここでは話題提供の内容をまとめていくことにした。

一人目の発表者は、まず漢字の難しさについて話をし、「難

しいのは漢字の読み方。音読みと訓読みがあり、同じ漢字だけど読み方がたくさんあって覚えにくい」ということが挙げられた。次に日本での生活で困っていることが報告された。「電車の地図には漢字がいっぱい使われていて、見ても分からない。そのため友達からアプリを紹介してもらった。それでも漢字に振り仮名がついていないので難しい」「スーパーでの買い物も大変。漢字、ひらがな、カタカナが混ざっていて難しい。何かを買う時も写真をみて判断することが多い」「パイトの履歴書を書く時も振り仮名がついていないので、難しい漢字は読めない。たくさん時間がかかった」ということが話された。また日本語の勉強法として、「線をなぞる漢字ゲームをやる」「日本語の漫画を読む」などを挙げていた。

二人目は現在最も困難を感じていることとして家庭用器具の文字など、自宅内での日本語を挙げた。「一人暮らしのものは、日本人にとって普通のもの。しかし外国人には困るもの

が多い。お風呂のボタンやエアコンのリモコンなど漢字しか書いてないので、来日当初は使い方が分からなかった。「洗濯機はカタカナやひらがなもあるが、習っていない単語もあり、辞書で調べる必要があった。また注意書きも読むのが難しいので、危ないこともよくわからなかった」「アパートに入る時にあったパンフレットも難しい日本語が多くて読めない」という意見が話された。また、「病院に行く時や、薬をもらった時にも説明が全て日本語だったので分からなかった。アレルギーがあったりしたら大変なので、辞書で全て訳した」という経験など自宅外にも様々な困難があることも挙げられた。日本語の勉強法として「漢字ノートにたくさん書いて覚える」「日本語のアプリを使ってゲームをしたり、フラッシュカードを使ったり、作文などを書く練習もたくさんしている」という方法が話された。

三人目の話題提供者も様々な書き言葉の困難さを挙げていた。まず「代金引換の用紙を受け取ってみた時、小さい漢字がいっぱいあり、『電気』や『値段』、『お金』という漢字くらいしか分からず大変だった」「家の近くにある電車の看板(踏切注意)も当時は全然分からなかったの、スマートフォン辞書を使って調べた」という漢字自体の難しさを挙げる意見や、「アパートを探している時も、不動産の人が話していることは分かったが、その人がアパート紹介の紙を持ってきた

時は、写真によるイメージくらいしか分からず苦労した。『6帖』が何なのかも分からないし、K2・8帖というの何なのか分からなかった」など、『帖』など、日本の単位の難しさを挙げる意見も話された。漢字の勉強法としては、「小説と漫画についている漢字と振り仮名。振り仮名は漢字を覚える上でとても良い方法だと思う」「日本人の友達に紹介された『Kanji Box』というアプリも漢字を覚えるのにとっても良い」という意見が挙げられた。

四人目は中国からの留学生であったが、漢字圏からの留学生も様々な困難を感じていることが話された。「一番難しいのはカタカナ。化粧品などに書いてある説明などが難しい」「シャンプーとコンディショナーの違いが難しかったり、ファッションショー、ボディエマルジョン、クレンジングなど全く分からないものもあった」というカタカナの困難さが話された。その他にも「日本の漢字と中国の漢字は意味が違うことがある。例えば日本では『娘』は可愛い女の子だが、中国語だとおばあさんのこと。他にも『学長』は中国だと男の先輩という意味になるし、『手紙』は中国語だとトイレトペーパーという意味になる」など、日本語と中国語の意味の違いがあるために、逆に困難になることがあると報告された。日本語の勉強法として「スマートフォンが便利なのでアプリは絶対利用した方がいいと思う。辞書やネットスクールアプリ



自分の漢字勉強法を紹介するスペインからの留学生



漢字の意味の違いを説明する中国からの留学生



会場でのディスカッション風景

でN1やN2の勉強ができる」「また分からない言葉を自分で単語カードに書いて、家の色々なところに貼って勉強している」ことなどが挙げられた。

最後の五人目の話題提供者も自身の様々な経験を話していた。「発音がとても難しい。日本語を始めたばかりの頃に日本人のおばあさんに、カタクリコを買ってきてと頼まれたが、グリコポッキーを買っていったことがあった」という音の近い語の聞き分けの困難さが報告された。その他にも「取扱説明書を読んで理解するのは難しかった。なぜかというところ、カタクカナの言葉や専門用語が多く書いてあるから。例えばテレ

ビのアンテナ、画像出力端子、付属品や、パソコンのバックアップ、液晶ディスプレイ、ウイルスバスター、推奨設定などは全然分からなかった」という専門用語の難しさや、「総武線、京葉線、京王線など電車線の線路の名前や、奥間内や小前田など変わった駅の名前などが多くて、最初はよく間違えたりしていた」というような電車に関する様々な困難さが報告された。漢字の勉強法としては「分からない言葉をメモして、単語カードや漢字カードを作って勉強することや、『Face-bookで日本語の日記をつけている。日本の友達もみんな見てくれるので、日本語を間違えていたりすると直してくれて覚えることができる』という独自の勉強法も紹介していた。